

会 議 要 録

会 議 名	令和2年度 第3回西予市社会教育委員会	
事 務 局	西予市教育委員会教育部生涯学習課生涯学習係	
	電 話 0894-62-6415	
	F A X 0894-62-0692	
日 時	令和3年3月12日(金) 14:00 ～ 15:57	
場 所	西予市教育保健センター 4階 大ホール	
出席者	委 員	12名/20名
	事務局	21名
議 事 内 容 (要 旨)		
議事内容(要旨)	<p>1. 開会あいさつ 西予市社会教育委員会委員長</p> <p>2. 教育部長あいさつ 西予市教育委員会教育部長</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 令和2年度事業の反省、3年度の方向性について 令和2年度社会教育実施報告書、スライドをもとに、生涯学習課長→スポーツ・文化課長→明浜教育課長→明浜公民館代表主事→宇和公民館代表主事→野村教育課長→野村公民館代表主事→城川教育課長→城川公民館代表主事→三瓶教育課長→三瓶公民館代表主事→図書交流館館長補佐が説明</p> <p>【質疑・意見】</p> <p>現在学校の部活動は、土日どちらか1日と、平日にも1日休むということで、1週間の内2日は、放課後に中学生が地域にいる実情がある。令和5年から段階的に休日の部活動に教員が関わらない、学校で部活動をしないという体制が変わっていくと、7日のうちの3日は地域になることになる。そこでぜひ受け皿を考えていただきたい。</p> <p>受け皿の1つは社会体育や地域の総合型スポーツクラブ等になるかと思う。また、子どもたちが地域の行事に参画する機会もこれから先見据えていかなければいけない。</p> <p>子どもの数が減少する中で、なんとか地域に帰ってくるような子どもたちを育てていかなければいけない。中学校もいろいろ工夫しながら地域とのタイアップであるとか、地域を知る授業など実施しているが、地</p>	
委員		

<p>スポーツ・文化課長</p>	<p>域の方も中学生や高校生を地域に巻き込むような事業を展開していかなければいけないと考える。</p> <p>社会教育に中高生の声はなかなか届きにくい。実際、この社会教育委員会も大人ばかりである。若い世代が西予市の様々な事業に企画の段階から参画をし、自分たちが西予市を動かしたという体験をすることが、もう一度西予市に帰ってきて、働こうという意欲につながっていくのではないかと感じている。中学生、高校生の声をもっと様々な所に届くとよいと感じる。</p> <p>滝澤委員には、前回の当委員会においても、「学校の働き方改革を踏まえた部活動の地域移行」についてご提言いただき、地域の状況や総合型スポーツクラブの活動状況等を踏まえ、学校と慎重に検討を進めたいと回答させていただいた。</p> <p>現時点も検討の段階であるが、その後の状況として、「部活動の地域移行」については、市の総合型スポーツクラブの意見交換会や、愛媛県総合型スポーツクラブサミットにおいても協議され、情報の共有や検討が進められているところである。また、愛媛県スポーツ振興事業団で、令和4年度からの総合型スポーツクラブの登録認証制度の導入へ向けて新たな取組みが始まった。登録認証することにより、総合型スポーツクラブが公共性を持ち、質の向上につなげ、市民や地域からより信頼を得ることを目指している。</p> <p>今後も、学校や地域の状況、愛媛県スポーツ振興事業団の動向も踏まえながら慎重に検討していきたい。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>子どもたちの地域参画の事例として、宇和公民館の桜まつりがある。今年はコロナで中止になったが、毎年春に宇和運動公園で行っており、宇和町小学校の高学年の子どもたちが、幼児にゲームなどを提供する側として参加している。そういったことから始めて、徐々に子どもたちにイベント運営側に加わっていただいて、社会学習的な体験もできるようにしたいと考えている。</p> <p>(2) 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて スポーツ・文化課 スポーツ振興係長説明 ・質疑応答なし</p> <p>(3) 成人式の延期について 生涯学習課生涯学習係担当者説明</p>

・質疑応答なし

(4) 西予市地域づくり活動センター市民検討委員会

公民館分館制度分科会の状況報告について

○公民館分館制度分科会の状況報告

○地域づくり活動センターモデル事業活動報告（狩江公民館）

・質疑応答なし

(5) その他

特になし

4. 閉会あいさつ

西予市社会教育委員会副委員長

15 : 57 終了